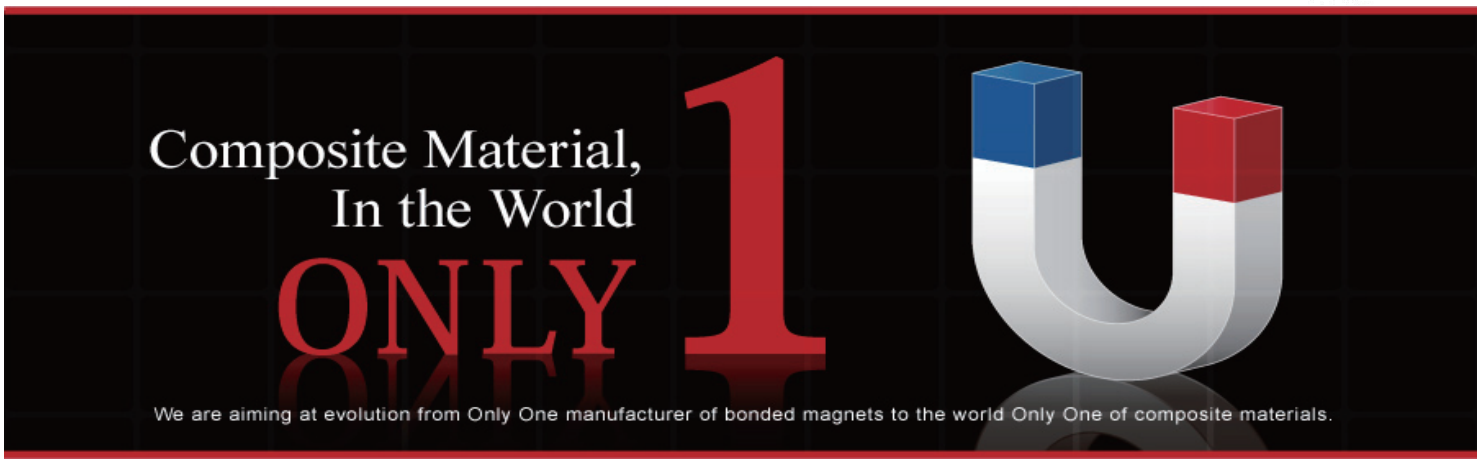
MATE



【射出・押出し成型用プラスチックマグネット材料】
・フェライト系コンパウンド
・ネオジム系等方性コンパウンド
・ネオジム系異方性コンパウンド
・サマコバ系異方性コンパウンド
・希土類+フェライト系コンパウンド

【射出成型用軟磁性プラスチック材料】
・ソフトフェライト系コンパウンド
・金属扁平粉及び金属系コンパウンド

株式会社 メイト
《営業部》
〒709-0514
岡山県和気郡和気町佐伯526-3
TEL：0869-88-1888 / FAX：0869-88-0204

《東京営業所》
〒116-0014
東京都荒川区東日暮里5-52-2神谷ビル301
TEL：03-5810-6825 / FAX：03-5810-6826

URL：http://www.mate.co.jp/

Copyright (c) 2009 MATE CO., LTD All right reseved.

編集後記

BM 素心は島田寛東北大学名誉教授に「講義について想うこと」と題してご寄稿頂いた。前期寺子屋塾に 3 回連続で講義をお願いした結果、これまで最多の参加人数規模となった。軟磁性材料について勉強したい方が沢山いることを改めて確認した。軟磁性材料の用途は多岐に渡るためその利用条件は大変複雑である。特に利用する周波数が直流から GHz にまで及ぶため、材料の選択およびその形状などは用途に合わせた選択が必要であり極めて難しい。島田講師にはこの難しい点を分かり易くご講義頂き大変感謝している。講義内容については、徳永塾長にまとめをご寄稿頂いており、参考にして頂ければ幸いである。

BM レポートには、5 月の技術例会で「磁石材料および磁気応用製品の最新開発動向」と題してご講演頂いた内容を講師の許可を得て再掲載した。特に、磁歪振動発電、不可逆低温減磁を克服したフェライト、SmFeN 焼結のための焼結助剤、希土類安定供給に向けた中国の動向およびアモイタングステンの焼結磁石開発などがアンケートで高い評価を受けた。大変貴重なデータが詰まっているので会議に参加出来なかった方にも是非参考にして頂きたい。

最近中国メーカの法人会員入会が進み大変励みになっている。彼らの企業活動は若い人を中心にして極めて活発であり今後の活躍が期待される。

今後も、軟磁性材料、硬磁性材料それぞれの応用例を今後も取り上げることで、本当に必要な材料特性を理解して材料開発を進めるために役立つ勉強会を継続していきたいと考えている。

機関紙編集委員長
大森 賢次